



(令和3年2月8日財政課)

予算規模

一般会計 3,297億円(対前年度 44億円増 +1.4%) 全会計 6,551億円(対前年度 128億円増 +2.0%)

過去最大の予算規模

予算編成のポイント

- ◇ ポストコロナを見据え「新たな日常」に対応した社会の実現に向けた取組に予算を重点配分
- ◇ 本市の最重要課題である第3次総合計画の「5大構想」を着実に推進する取組を予算に反映
- ◇ 激甚化・頻発化する災害への対応として、国土強靭化を強力に推進する取組を予算に反映
- ・国の「15か月予算」の考え方と連動して、令和2年度2月補正予算と令和3年度当初予算を一体で編成

令和2年度2月補正予算では国の3次補正と連動し、地方創生臨時交付金等を活用して「新たな日常」に対応した取組に約38.1億円を計上。また、社会基盤整 備などの取組についても、約27.3億円を計上(合計65.4億円)。令和3年度当初予算と合わせ3,362.4億円を計上。

地域経済の活性化と賑わいの創出

·JR静岡駅北口「しずチカ」空間活用の社会実験の実施

## 「新たな日常」への対応(コロナ対策) 76.0億円)

Lifeを取り戻そう

分散化社会への対応

・飲食店等の事業継続への支援

2月補正

・継続的な中小企業への借入利子の支援



ICTなどを活用した社会の効率化

・子どもの可能性を開花させる静岡型ICT教育の推進

・児童生徒1人1台パソコン配備に向けた環境整備

・中小企業のデジタル化に向けた支援

•ICTを活用した行政手続ガイドの拡充

2月補正

・同報無線デジタル化の推進







4. 7億円

1. 1億円

3. 6億円

1/ BRESHL

\_ifeを守ろう

~市民の生命を守ることを最優先

市民の安全・安心の確保

54. 6億円

新型コロナウイルスワクチン接種事業の確実な実施 ·PCR検査·抗原検査等の行政検査自己負担分への支援

28.8億円

2月補正

25.8億円

- ・ワクチン接種事業の体制確保と実施
- ・本市の医療を支える公的病院等への助成
- ·不安を抱える妊婦のPCR検査等の実施





・商店街団体や宿泊事業者団体が実施する事業への支援

・新たなビジネス創出のための交流・共創の場の提供



~市民の日常生活を取り戻す~

16. 7億円

8. 0億円

8. 7億円





- 静岡市のナンバーワン・ オンリーワン情報の整理・発信
- ・静岡市の歴史や文化にかかる 情報発信の強化
- ・しずおか中部5市2町の連携 による情報発信

# 世界に輝く静岡」の実現



**SDGs** 

世界共通のものさし  $(2016\sim2030)$ 

SDGsという世界共通のものさしで 設定された、2030年のGOALに向け た大きな目標を5大構想に組み込み、 世界水準のまちを目指します。





# を示す3つの都心づくり















・清水港からの農産物輸出促進への支援 ・「新興津ビーチパーク」アクセス道の整備促進









駿府城公園中堀における葵舟の運航

・日本遺産「弥次さん喜多さん、駿州の旅」街道観光の推進

歴史文化の拠点づくり



【74.7億円】











- 「こ・こ・に」を通じたまちづくりを担う人材の養成
- ・賑わいのある草薙駅周辺エリアに向けたマネジメント支援
- ・東京2020と連動した「東静岡アート&スホーッ/ヒロバ」の活用





## 「健康長寿のまち」の推進





44. 2億円



15.0億円

・「自宅でずっと」を支える地域包括ケアシステムの充実 ・認知症ケア推進センターの活用と認知症総合支援の推進

・脳梗塞予防のための医療プロジェクトへの助成



7. 2億円











•「まちは劇場」のブランディングとプロモーション

「まちは劇場」の推進

・春夏秋冬フェスティバルが楽しめるまちの実現

・日常で「わくわくドキドキ」を感じる仕掛けづくり







## 国土強靭化(防災・減災、社会基盤整備) (146.5億円)

防災•減災

4. 4億円

・自主防災組織の防災資機材等の購入に対する支援 ・建物の耐震化に対する支援

2月補正 ・同報無線デジタル化の推進(再掲) 4. 2億円





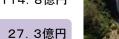
2月補正

・浸水対策推進プランに基づく河川改修

・道路ネットワークの整備

114.8億円

142. 1億円





(O. 2億円)

・道路の新設改良(清水富士宮線)ほか